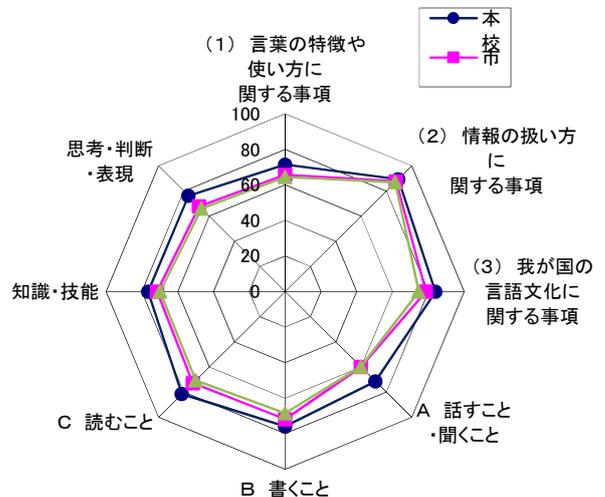


宇都宮市立錦小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.4	65.7	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	89.3	87.6	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	83.9	78.6	74.6
	A 話すこと・聞くこと	71.4	59.9	59.8
	B 書くこと	75.9	71.8	68.4
	C 読むこと	81.5	72.9	70.7
観点	知識・技能	76.5	71.5	69.8
	思考・判断・表現	76.3	67.8	66.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均正答率より高い。 ○文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題では、正答率が78.6%で、国の正答率より16.3ポイント上回った。 ●漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題の正答率は、字によって国の正答率を上回ったものと下回ったものがあり、ばらつきがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習得については、家庭学習を推奨するだけでなく、読み書きの定着を目指して定期的にミニテスト等を実施する。また、文章中で正しく漢字を使っているかどうかについては、他教科や他の活動においても日常的に漢字を使用するよう声掛けをしていくとともに適切に書くことが確認し、できているかその都度指導していく。
(2) 情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均正答率よりやや高い。 ○情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題では正答率が89.3%で、国の正答率より2.4ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の学習では、主に説明文を取り扱う単元で情報の活用の仕方学び、さらにそこから考えを広げたり深めたりする学習を丁寧に展開できるようにする。また、他教科でも、メモや資料等を読み取る際に注意する点、メモを書く際の表現の仕方等、取り上げ指導していく。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均正答率より高い。 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる問題の正答率は83.9%で、国の正答率より9.3ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、自分の考えを広げたり深めたりするために、書かれている事柄を正確に読みとり自分の考えをもつことを大切にする態度を育成していく。
A 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均正答率より高い。 ○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題の正答率は78.6%で、国の正答率より14.8ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをしたり、自分の考えを述べたりする場面で、話の内容が相手に正確に伝わるように資料を活用したり、根拠を示しながら説明したりすることができるよう、指導を行う。また、国語だけでなく、学級活動等、他の教科でも、互いに意見を交流できるような時間を作るようにする。
B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均正答率より高い。 ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率は64.3%で、国の正答率より7.7ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く際には、書く目的を明確にし、内容を整理するための構成メモを作成するようにして、筋道の通った文章が書けるように指導する。その際、教科書の例文などを参考にして、自分の主張が明確になるようにしていく。
C 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の正答率より高い。 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる問題の正答率は91.1%で、国の正答率を18.5ポイント上回った。 ●人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題の正答率は83.9%で、国の正答率を1.1ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語教材の単元では、登場人物の心情や物語の背景、文中の表現が物語に与える効果を感じながら読むことができるように指導する。 読書の有用性について指導し、今後も読書活動を奨励していく。